



人材育成のための研修体制が整っており、民間企業を経験した後に入庁する人も、安心して働くことができます。

機械技術職 下水施設課

山本 将太 (やまもと しょうた)

平成31年度入庁

現在担当されている仕事内容について、教えてください。

下水処理場や雨水排除施設といった市民の生活に欠くことのできない重要なインフラ施設における機械設備の工事設計や施工監理を担当しています。設計業務では、機器の仕様を検討し、発注時に必要な図面や仕様書の作成、工事費用の積算を行います。また施工監理業務では、現場に出て工事が適切に施工されているかの確認を工事が無事に完了するまで行います。



なぜ倉敷市職員を選んだのか教えてください。

大学卒業後、民間企業に就職しましたが、自分自身の環境の変化から将来的に県外への転勤がなく、安定して働きたいという想いが芽生え、地元である倉敷市で働きたいと考えました。大学や民間企業で学んできたことを活かし、機械技術職として生活に必要な不可欠な施設に関して、計画・設計から完成に至るまで一貫してモノづくりに携わり、自分が生まれ育ったまちをより良くできる仕事に魅力を感じ、やりがいがあると思い、志望しました。

職場の雰囲気について教えてください。

年齢や役職に関係なく、職員間でコミュニケーションが取れている風通しの良い職場だと思います。私が所属する下水施設課は、機械技術職をはじめ、電気技術職や土木技術職など複数の職種が集まる珍しい課です。業務の中で発生した課題について、各職種の様々な視点から相談に乗ってもらえるので非常に心強く、先輩や同僚に助けをもらいながら安心して仕事に取り組んでいます。



民間企業から転職して入庁する人はいますか？

私も含め、民間企業を経験した後に倉敷市役所に入庁する人は多くいます。そのため、民間企業から転職して働くことに対して心配する必要はありません。さらに、倉敷市役所では人材育成のための研修体制が整っており、新採用職員研修や経験年数に応じた研修といった基本研修に加え、自主的に科目を選択して参加する実務研修など幅広く対応しているので、安心して働くことができます。

🔗 倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

倉敷市の機械技術職の配属先は、下水施設課以外にも、下水処理場の維持管理を行う部署や公共施設の設計や施工監理を行う部署など多数存在します。人事異動によって様々な部署で幅広い知識と経験を吸収できることがこの仕事の魅力の一つだと思います。なにより自分が携わる仕事の一つ一つがより豊かで安心な市民の生活に繋がっていると感じられるため、非常にやりがいがある仕事です。ぜひ皆さんも倉敷市職員として働いてみませんか。